

| | | | |
|--|---|-------|--------|
| クラス番号 | 633 | 担当教員名 | 増井 香名子 |
| テーマ | 人が安全・安心に生きるための社会や支援のあり方について | | |
| 著書・論文 研究課題等 | <p>【著書・論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『DV 被害からの離脱・回復を支援する～被害者の「語り」にみる経験プロセス～』（2019）ミネルヴァ書房. 「母子生活支援施設における職員研修の実践とその効果～暴力被害等を経験した子どもと母への支援力向上に向けて～」(2020)『社会問題研究』第 68 巻. 「DV 被害者心理とソーシャルワークプロセスに基づく研修プログラム～加害者と同居中の被害者の相談面接実践に焦点づけて～」(2020)『ソーシャルワーク研究』第 46 巻 2 号. <p>【研究課題】</p> <p>DV 被害者とその子どもの支援を考える研究をしています。聞き取り調査やアンケートの自由記述の分析から当事者や支援者の経験を明らかにし、より良き支援とは何かを考えています。</p> | | |
| ゼミナール概要 | | | |
| キーワード：安全・安心を脅かす社会状況、家族、女性、子ども、ひとり親家庭、ソーシャルワーク、支援者 | | | |
| <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人と人との安全・安心な関係を理解し、安全・安心を基盤に生きる力を身につける。 ②ソーシャルワーカーとして、実践の基礎となる力を身につける。 ③卒業論文作成を通して、社会問題を多角的に考察し、書く力を身につける。 <p>【内容】</p> <p>人は誰も安全・安心に生きていく権利を持っています。しかし、現実には、DV や児童虐待など家庭内での虐待、女性への暴力、母子家庭の貧困など多くの家族や女性を取り巻く安全・安心を脅かす社会状況があります。それらの実態を知るとともに、ソーシャルワークや社会がどうあるべきかを掘り下げて考えていきます。</p> <p>【方法】</p> <p>まず、安全・安心が脅かされる社会状況について広くメンバーの関心を高めます。また、必要に応じて、外部からゲストスピーカーをきてもらったり、フィールドに出かけたりすることによって支援者や支援現場を知る機会を設けたいと思います。それらの経験から自身の関心を絞り、既に明らかになっていることを整理し、どのようにするかを考え、卒業論文を作成します。</p> <p>【授業計画】</p> <p>3 年生前半：ミニ講義とワークを取り入れ、安全・安心を脅かす社会状況について関心を高めます。 3 年生後半：ゼミ生がそれぞれ関心のあるテーマについて調べ、発表します。 4 年生前半：卒業論文に取り組みます。 4 年生後半：卒業論文の完成をし、国家試験対策に取り組みます。</p> | | | |
| 担当教員からのメッセージ | | | |
| <p>○自己紹介：自治体の社会福祉職として、児童・女性福祉分野等で広く実践してきました。実践経験を通して「人は安全・安心に生きる権利がある」、そして「それを実現するには福祉や支援はどうあるべきか」を考えてきました。大阪育ちで、大阪弁バリバリです。</p> <p>○エントリーシート：以下について記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①関心を持っている福祉分野や社会問題、②現時点での希望の進路、③自分のいいところ・強み <p>○ゼミについて：卒業後は福祉の仕事につきたい、社会福祉士等国家資格取得を目指しているという人を歓迎します。社会に出る前の貴重な 2 年間です。皆さんとともによく学んだと思えるゼミにしていきたいと思えます。</p> <p>*初めて本学部でのゼミを担当します。メンバーが成長しあえる楽しいゼミを、一緒に作っていきましょう！</p> | | | |